

# 委員会 通信

## 第16回

# 開発特別委員会

多古町の総合的な開発計画の調整その他の実施に関して必要な審査や調査を行うため設置されています。



道路工事が進む多古台住宅団地跡地  
(国道296号線より)

## 今、多古台住宅団地跡地の 開発は…

開発行為は、町の盛衰に関わる大きな問題であります。その為、私たち開発特別委員会は、大きな開発行為については、慎重に審議をする責務があります。特に多古台住宅団地跡地に係る問題は、慎重さが求められます。

町の多古台開発計画の中では、基本的に住宅団地跡地29万㎡は、役場から国道296号線に向かって都市計画道路を挟み、左(南)を公共用地、右(北)を民間開発用地と考えています。そして、広く企業提案を求めたところ、4社の申し入れがありました。各社の提案を紹介します。

**A社** 南側に集合住宅、北側に約70坪区画の木造住宅団地の構想。

**B社** 北側の平地のみの住宅開発で、約80坪区画の建売住宅の構想。

**C社** 北側のみ、芝桜の庭をメインとしたレクリエーション施設。(群馬県館林において同様施設の開発経験済。)

**D社** 27万㎡を2期に分けて造成し、物流団地と住宅団地の複合開発。以上です。

それぞれ違った開発のテーマがありました。その中で町の構想に最も近い開発概要がA社ということになりました。

そこで、議長に議員全員による全員協議会の開催を求め、提案者であるA社より説明を受けました。これからも町とともに、開発特別委員会としてこの計画に協力をしていきたいと思っております。



開発特別委員会のメンバーです

多古町議会には、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会あわせて8つの委員会があります。このコーナーでは各委員会の活動の様子をお伝えしています。

## 編集 後記

新しい年を迎え、初めての「議会だより51号」を町民の皆様にお届けします。いつもながら活字にする難しさを痛感しております。

◆議会は、町のチェック機能です。今年も議会で審議されたことなど、議会だよりを通じてお知らせします。◆今、全世界が財政危機であり、日本もその影響を大きく受けております。世界のトヨタが大きな赤字経営と報道されており、あらゆる面で厳しいことは間違いありません。本町も、経費の削減をしなければならぬと感じています。議会は行政と一体となり対応してゆかなければなりません。◆昨年一年を表わす一文字は「変」でした。今年もどのような変革になるかわかりませんが、大変なことは予想できます。その厳しさに議会が一丸となり、皆さんと共に立ち向かっていく思いです。本年も御愛読の程、よろしく願います。

議会広報特別委員会

委員長 柳下義衛

3月は定例議会が開かれます。ぜひ、傍聴にお出かけください。日程・内容など詳しくは多古町ホームページか議会事務局まで。